

ズームックス スノー 12

取扱説明書



Ver 1.0

目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 1. はじめに | 3 |
| 2. 安全上のご注意 | 4 |
| 3. 製品情報 | 8 |
| 3.1 付属品 | 8 |
| 3.2 各部の名称 | 9 |
| 3.2.1 各部の名称 (本体) | 9 |
| 3.2.2 各部の名称 (「ページ撮影モード」専用スタンド) | 10 |
| 3.3 充電 | 11 |
| 3.4 電源ランプ | 11 |
| 4. 基本操作 | 12 |
| 4.1 各種スタンドの開閉方法 | 12 |
| 4.1.1 本体スタンドの開閉方法 | 12 |
| 4.1.2 「ページ撮影モード」専用スタンドの開き方 | 13 |
| 4.1.3 「ページ撮影モード」専用スタンドの閉じ方 | 14 |
| 4.2 電源のオン/オフ | 15 |
| 4.3 スタンバイモードの使用 | 16 |
| 4.4 読書モード/望遠モードの切り替え | 17 |
| 4.5 倍率の変更 | 18 |
| 4.6 操作レバーでの画像スクロール | 19 |
| 4.7 カラーモードの選択 | 20 |
| 4.8 タッチフォーカス | 20 |
| 4.9 画面の静止と保存 | 21 |
| 4.9.1 画面を静止する | 21 |
| 4.9.2 静止時ボタンパネルについて | 22 |
| 4.10 ページ撮影モード | 23 |
| 5. メインメニュー | 24 |

| | | |
|-----------|----------------------|-----------|
| 5.1 | フォトギャラリー | 25 |
| 5.1.1 | フォトギャラリー（フォト） | 25 |
| 5.1.2 | フォトギャラリー（PDF） | 27 |
| 5.1.3 | フォトギャラリーでの削除（共通） | 28 |
| 5.2 | 設定メニューの使用 | 29 |
| 5.2.1 | LED ライト設定 | 29 |
| 5.2.2 | システム音量の変更 | 30 |
| 5.2.3 | 画面の明るさの変更 | 31 |
| 5.2.4 | ラインおよびマスクの変更 | 32 |
| 5.2.5 | コントラストの強さの調整 | 33 |
| 5.2.6 | カラーモードの設定 | 34 |
| 5.2.7 | フォトスクロール速度 | 35 |
| 5.2.8 | 3分間自動スタンバイモードのオン/オフ | 35 |
| 5.2.9 | 設定メニューを閉じる | 35 |
| 5.3 | システム情報 | 36 |
| 5.3.1 | ファームウェアバージョン | 36 |
| 5.3.2 | 周波数(50Hz/60Hz)切替 | 37 |
| 5.3.3 | USB メモリでアップグレード | 37 |
| 5.3.4 | 工場出荷時の設定に戻す（初期設定に戻す） | 37 |
| 5.3.5 | システム情報を閉じる | 38 |
| 6. | 外部接続 | 39 |
| 6.1 | データの転送 | 39 |
| 6.2 | テレビ画面に接続する | 41 |
| 6.3 | スノー12に映像を出力する | 42 |
| 7. | 困ったときには | 43 |
| 8. | 商品仕様 | 45 |
| 9. | お客様相談室 | 46 |

1. はじめに

この度は、ズームックス スノー 1 2（以下、スノー 1 2）をお買上げ頂き、誠にありがとうございます。スノー 1 2は、12 インチのフルHD 画質のタッチパネルを搭載した拡大読書器です。

付属の「ページ撮影モード」専用スタンドを利用した A4 サイズ相当の原稿を撮影する機能などの高性能とシンプルな操作性を両立しております。

使い勝手の良さから、様々な場面で活躍することをお約束します。

本取扱説明書をよくお読みになり、機能をよりよく理解してからご使用ください。

尚、本書で液晶画面を操作する際の動作を下記のように呼称します。



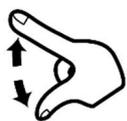
- タッチ

1本の指先で液晶画面を軽くタッチする操作



- スワイプ

1本の指先で画面にタッチした状態で指を滑らせる操作



- ピンチアウト

液晶画面に2本の指を乗せ、2本の指の間を広げるように動かす操作



- ピンチイン

2本の指でつまむ（間を狭める）ように動かすと、縮小します

2. 安全上のご注意

安全なご使用のために

本機を誤った使用方法でご使用頂きますと、火災や感電といった事故の原因となることがあり危険です。以下の注意事項を必ずお守り下さい。

- ◎ 「安全上のご注意」の内容を必ずお守り下さい。
- ◎ 万一、異常が起きたら、電源スイッチを切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、その他のケーブルを本機から抜いた後にお求め頂きました販売店又は弊社までご連絡下さい。
- ◎ 故障が起きたら、修理が完了するまでは再度本機を使用しないで下さい。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために…
必ずお守り下さい

この「安全上のご注意」は本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読み下さい。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

| | |
|---|--|
|  | 名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。 |
|  | 名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。 |
|  | 名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：本機を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。 |
|  | 名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。 |
|  | 名称：分解禁止 意味：本機を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。 |
|  | 名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。 |
|  | 名称：電源プラグをコンセントから抜け 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。 |

警告

 本機の分解や改造を行わない。火災や感電等の事故の原因となります。点検や修理は必ずお求めいただきました販売店または弊社に依頼して下さい。

 本機を爆発物、引火物の周辺で使用しない。火災、爆発等の原因となります。

 本機の内部に水や金属類（ヘアピン、クリップ等）を挿入しない。感電等の事故の原因となります。

 万一水や金属類が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。
それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。

 本機の電源は日本国内の商用電源（AC100V 50/60Hz）のみで使用する。海外での使用やこれ以外の電源での使用は故障、火災や感電等の事故の原因となります。

安全上のご注意



電源ケーブル・接続ケーブルは机や棚、本機や他の重量物の下に挟まらないようにする。また、ストーブ等の熱器具の付近に近づけない。ケーブルが傷つきますと火災や感電等の事故の原因となります。



本機より煙が出ている場合や異常な音・臭いがある場合、本機を転倒・落下した場合やキャビネット等が破損したような場合にはすぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。



異常状態や故障状態のまま使用しますと、火災や感電等の事故の原因となります。



雷が鳴りはじめたら、本機、電源プラグ、ケーブル等に触れない。感電の原因となります。



必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となります。



注意



本機は、水平で本機の底面積とテーブルの移動範囲よりも十分に広い安定した机の上等で使用する。

傾斜のある場所や不安定な場所、重量物が積載できない場所で使用しますと、転倒等による事故の原因となる場合があります。



本機は縦置き設置です。本機の機体印刷文字が正立の状態で使用します。縦置き以外での使用は転倒等による事故の原因となる場合があります。



本機を気温・湿度の非常に高い場所やほこり・粉塵の多い場所で使用しない。火傷等の事故の原因となる場合があります。

ご使用に適した温度は0~40℃、湿度は30~80%です。



本機を直射日光の当たる場所やストーブ等の熱器具の付近に置かない。本機内部の温度が上昇し、火傷や火災等の事故の原因となる場合があります。



濡れた手で電源ケーブル・接続ケーブルの着脱を行わない。感電等の事故の原因となります。



ケーブルの着脱にはケーブルのプラグ部を持って確実に行う。ケーブルを無理に引っ張ったり、無理に曲げたりしますとケーブルが傷つき、火災や感電等の事故の原因となる場合があります。



本機の電源の投入は各ケーブルの接続が全て終了してから行う。また、ケーブルの着脱は電源が投入されていないことを確認してから行う。感電等の事故の原因となる場合があります。



電源コンセントの差し込み口付近はほこりがたまらないよう、定期的に清掃する。火災等の事故の原因となる場合があります。



本機が出力する照明や表示光に目を近づけて長い時間覗きこまない。視力の低下などの事故の原因となる場合があります。



清掃等のお手入れの際には、本機の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行う。電源を投入したままや、電源ケーブルを接続したままの状態でお手入れをすると、感電等の事故の原因となる場合があります。



購入後の定期的な点検や内部の清掃は、1年程度を目安に、購入した販売店または弊社に相談する。

本機の内部にほこりがたまったまま使用しますと、火災や感電の原因となる場合があります。



本機を足場や踏み台にしたり、上に乗ったりしない。故障や転倒による事故の原因となる場合があります。

特に小さなお子様のいる環境ではご注意ください。



本機にモニターテレビを積載して使用する場合には、モニターテレビが転倒しないよう、付属の保持バンドを必ず併用する。転倒による事故の原因となる場合があります。



本機を移動する場合には積載されたモニターテレビを本機から下ろし、電源ケーブル・接続ケーブルを抜いてから移動する。モニターテレビが積載されたままやケーブルが接続されたまま移動すると、感電や積載物の落下による事故の原因となる場合があります。



本機を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。

- スノー 1 2 の操作（本体スタンドの開閉、ボタンやアイコンの操作）は、連続して行わず、次の操作を行う場合は、少し間を開けて行ってください。誤動作の原因となる場合があります。
- スノー 1 2 を落としたり、ぶついたりしないでください。また、スノー 1 2 に強い圧力をかけないでください。
- 磁気や電磁波が発生するところ（電子レンジやテレビなど）からは、できるだけ離れて使ってください。磁気や電磁波の影響で画像が乱れることがあります。
- 異常に温度や湿度が高くなる場所（真夏の車内やトランクなど）に放置しないでください。製品の破損や故障の原因になります。
- 必ず付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード類は無理に引っ張ったり曲げたりしますと、断線の原因になります。コードを外す際はプラグ部分をもって、抜き差ししてください。
- 周囲で殺虫剤や揮発性のものを使う際は、スノー 1 2 にかからないようにしてください。外装ケースの変質や塗装剥がれの原因になります。
- ゴム製品やビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。外装に影響を与える可能性があります。
- 液晶画面を強く押さえないでください。画面にむらが出るなど、故障の原因になります。寒冷地などでスノー 1 2 が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶画面が通常より少し暗くなる場合があります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- レンズ面を強く押さえないでください。レンズ破損の原因になります。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置く際にはご注意ください。
- レンズ表面に汚れがついた場合は、レンズの表面を柔らかい布で軽くふき取ってください。

- AC アダプタを使用中、AC アダプタ内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- AC アダプタを使用中は AC アダプタが熱くなりますが、異常ではありません。ただし、長時間 AC アダプタに皮膚が触れないようにしてください。
- スノー 1 2 はタッチパネルを使用する操作が多々あります。操作は指で行いますが、爪では反応しませんのでご注意ください。また、タッチペンでの操作は推奨しておりませんので、ご了承ください。
- 保護シートを貼られた場合、操作できないなど誤動作の原因となる可能性があります。また、画面や指に極端な汚れがある場合も、反応しないなどの誤動作の原因となります。
- 長時間使用しないときは、スノー 1 2 を涼しく湿気のない、なるべく温度が一定のところに保管してください。奨励温度は 15℃～25℃、奨励湿度は 40%～60%です。
- 押入れや戸棚にスノー 1 2 を保管する場合、乾燥剤（シリカゲル）を一緒にいれることをお勧めします。

➤ 液晶画面に関するご注意

液晶の取扱いに関して、次のことに注意してください。

液晶画面はガラスでできています。液晶部分に物を当てたり、強く押さえたり、本体を落としたりするなどの外部からの要因によって、割れることがあります。取扱いには十分注意してください。

なお、液晶割れや画面に傷をつけた場合は、保証期間中でも、有償修理となります。もしも、液晶が割れた場合は、液晶画面や液晶画面から漏れた液体には絶対に触らないでください。

3. 製品情報

3.1 付属品

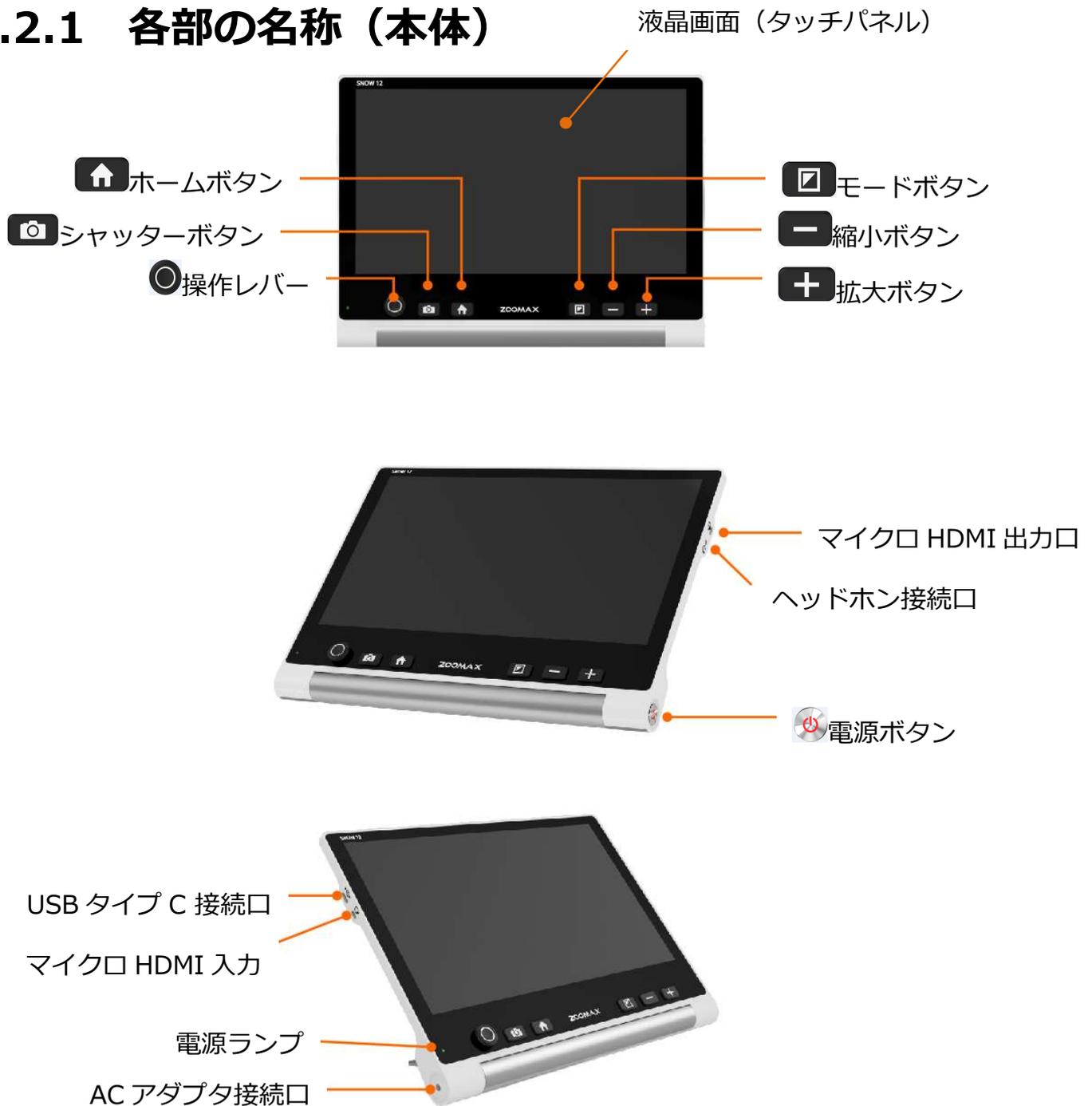
当商品には以下のものが含まれます。

- 「ページ撮影モード」専用スタンド
- ソフトケース(本体用)
- ハードケース（「ページ撮影モード」専用スタンド用）
- ハードケース用ショルダーストラップ（ハードケース内に収納されています）
- 取扱説明書
- ACアダプタ
- 電源コード
- USB ケーブル
- HDMI ケーブル
- お手入れ用クロス
- 製品保証書
- ユーザー登録用紙

※付属品に不足がある場合は販売代理店へお問い合わせください。

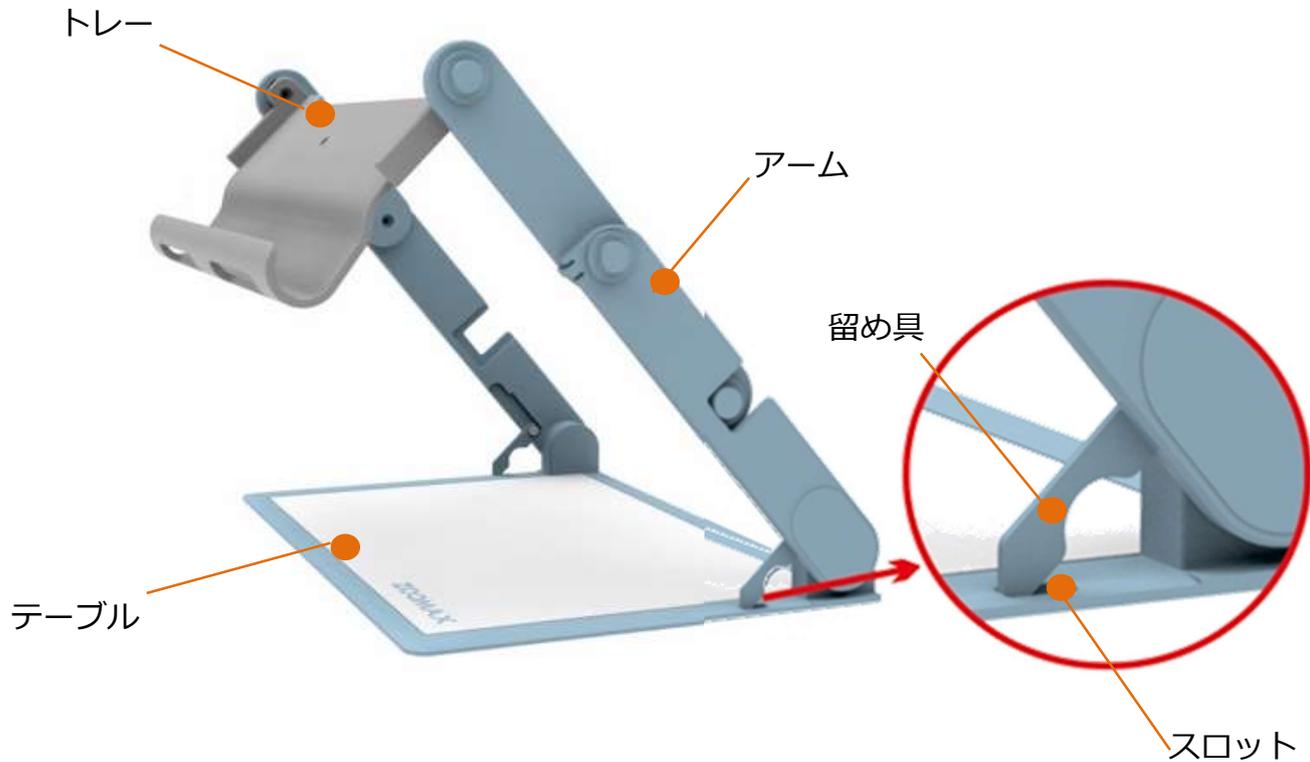
3.2 各部の名称

3.2.1 各部の名称（本体）



3.2.2 各部の名称（「ページ撮影モード」専用スタンド）

「ページ撮影モード」専用スタンドは、スノー12の標準アクセサリです。



スノー12は単独でも使用できますが、「ページ撮影モード」専用スタンドを使用することでA4サイズ相当の原稿を丸ごと撮影することができます。



単独利用時



「ページ撮影モード」専用スタンド利用時

3.3 充電

初めて使用する際は、必ずバッテリーを完全に充電してからご使用ください。

- 付属の電源コードのメガネ端子を AC アダプタの端子差込口につなぎ、AC アダプタのコードの先端の丸い端子を、本体左側面下部 AC アダプタ接続口に差し込みます。電源コードの電源プラグをコンセントに差し込むと充電が開始されます。充電中は電源ランプが赤く点灯（場合によっては点滅）します。
- 充電が完了すると、電源ランプが緑に変わります。充電を完了するには約 2 時間かかります。連続使用時間は、約 2.5～3 時間です。

※バッテリー残量が少なくなると、バッテリー残量低下アイコン  が左下に表示されます。

3.4 電源ランプ

赤: バッテリーを充電しているときは、本体の電源オン/オフに関係なくランプが赤く点灯します。

緑: 充電が完了しているとき、スタンバイモード中、AC アダプタ接続に関係なく起動直後は、ランプが緑に点灯します。

消灯: AC アダプタに接続していないときは、ランプは消灯しています。

注意

充電中に電源ランプが赤く点滅することがあります。当現象は内蔵バッテリーの充電量が段階的に変化したときに発生します。

故障や異常ではありません。

4. 基本操作

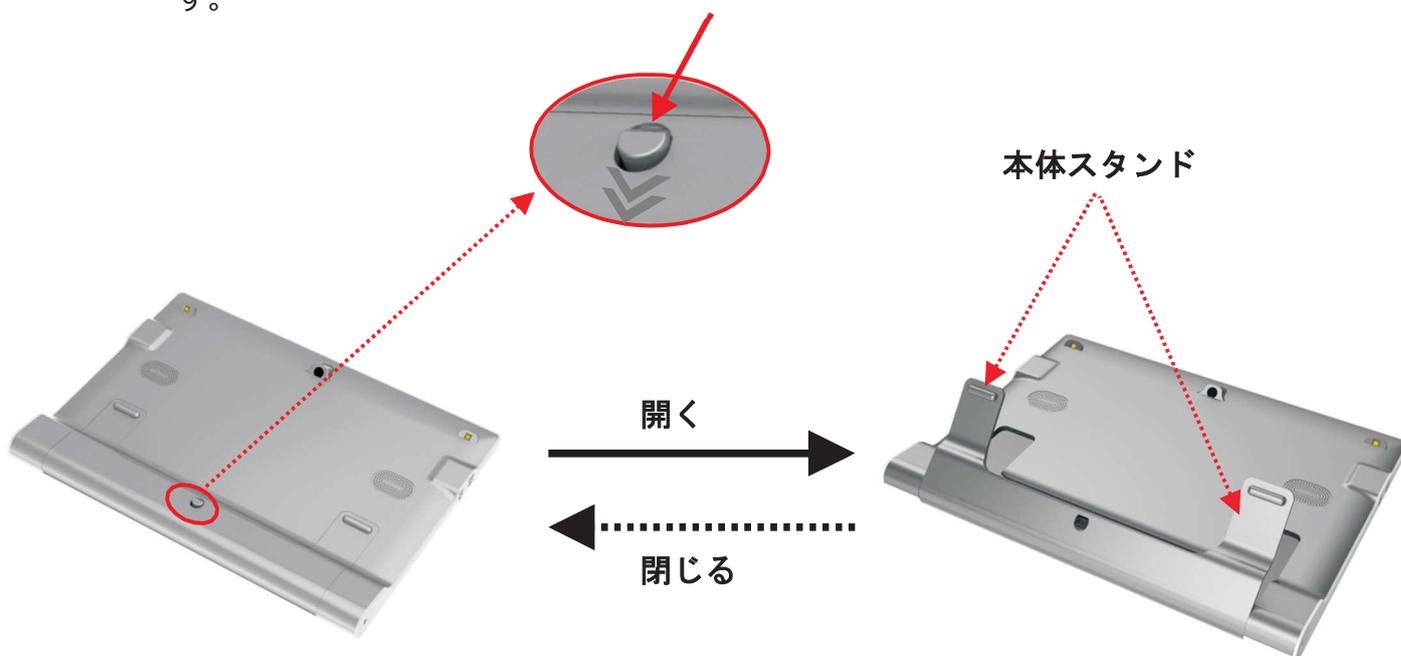
4.1 各種スタンドの開閉方法

4.1.1 本体スタンドの開閉方法

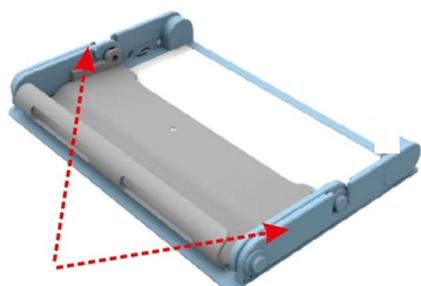
背面下部にあるロック解除ボタンを矢印の向きに押すと、本体スタンドが開きます。

本体スタンドを本体に向かって押し込むと、カチッという音とともにスタンドが閉じます。

ロック解除ボタン



4.1.2 「ページ撮影モード」専用スタンドの開き方



アーム



引き上げる

留め具およびスロット

- ① トレーを持って、アームが一度止まるまで持ち上げる。
- ② 左右の留め具をスロットに入れ、トレーのカーブしていない側を引き上げ、押して半回転させる。



引き上げる



- ③ トレーのカーブしている側を引き上げ、トレーが止まるまで約1回転させる。
- ④ 展開完了です。

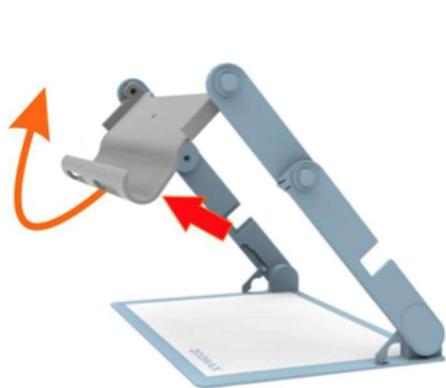
! 注意

トレーを回転させる際に留め具が外れないようご注意ください。

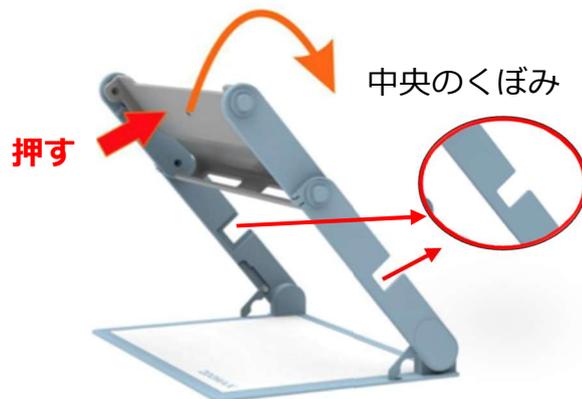
また、②の際、トレーが下がっている場合はトレーを持ち上げながら回転させてください。

4.1.3 「ページ撮影モード」専用スタンドの閉じ方

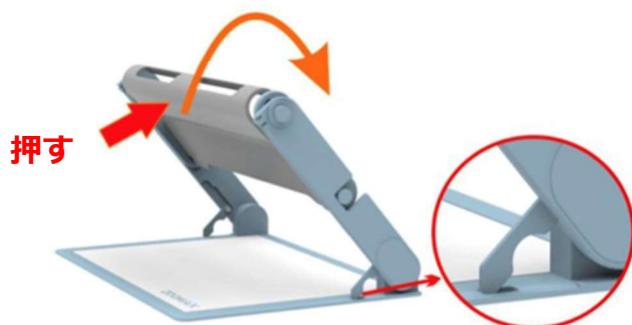
スタンドを閉じる前に、「ページ撮影モード」専用スタンドからスノ-12を取り外してください。



① トレーのカーブしている側を押してアームの間で止まるまで約1回転させる。

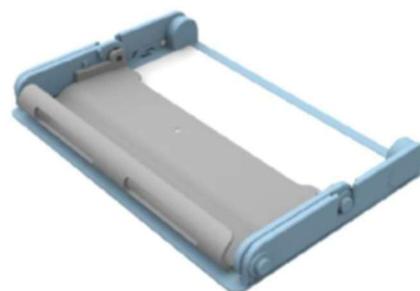


② アーム上部の丸い突起がアーム中央のくぼみに収まるまでアーム先端を半回転します。



留め具およびスロット

③ トレーを押して左右の留め具をスロットから上げて外します。



④ アームを閉じ、平らな状態にします。

! 注意

③の際、トレーが下がっている場合は、トレーを持ち上げてから押してください。

! 注意

「ページ撮影モード」専用スタンドの開閉の際は指を挟まないようにご注意ください。

4.2 電源のオン/オフ

電源をオンにするには、電源ボタンを約 3 秒間長押ししてください。

電源が入ると電源ランプが緑色に点灯し、画面中央にロゴマークが表示されます。

起動完了までに少々時間がかかりますが、約 30 秒後、カメラの映像が画面に表示されます。

電源をオフにするには、「電源を切ります」とアナウンスするまで電源ボタンを長押ししてください。

4.3 スタンバイモードの使用

本体の操作が何も行われず、本体も動かされない状態が3分以上続くと省電力機能が働き、自動的にスタンバイモードになります。電源ボタンを押すと、スタンバイモード前の状態に戻ります。

！ 注意

画面に動きがない状態だと「モードボタン」「縮小ボタン」「拡大ボタン」を操作しても自動スタンバイが機能して、スタンバイモードになります。

！ 注意

スタンバイモードから復帰時、下記内容が初期状態に戻ります。

- ・スクロール機能で変更した表示範囲
- ・コントラスト調整機能で変更したコントラスト強度

※まれに「ページ撮影モード」専用スタンド使用時のカラーモードもフルカラーに戻る場合があります（「ページ撮影モード」時以外）。

自動的にスタンバイモードになる設定は、メニューから無効にできます。設定方法については、設定メニューの 5.2.8「3分間自動スタンバイモードのオン/オフ」をご参照ください。

使用中に短く電源ボタンを押すと、任意にスタンバイモードにすることができます。もう一度、電源ボタンを短く押すと、スタンバイモードは解除されます。

メモ

3分間自動スタンバイモードをオフに設定し、その後、任意で電源ボタンを押してスタンバイモードにしても30分間スタンバイ状態が続くと、自動的に電源がオフになります。

4.4 読書モード/望遠モードの切り替え

本体スタンドの脚を開閉して、読書モードと望遠モードを切り替えます。



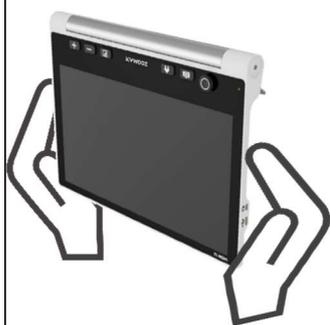
読書モード・・・背面下部のロック解除ボタンを押して本体スタンドを開きます。

画面点灯時に切り替えが完了すると「読書モード」とアナウンスが流れ、背面のLEDライトが点灯します。

望遠モード・・・「カチッ」と音がするまで本体スタンドの脚を閉じます。

画面点灯時に切り替えが完了すると「望遠モード」とアナウンスが流れ、背面のLEDライトが消灯します。

望遠モード時は本体の上下逆向きに持ってご利用ください。



! 注意

スタンドの開閉と「読書モード⇔望遠モード」の切替がうまく連動しない場合があります。
その場合、再度スタンドの開閉をゆっくり行ってください。

4.5 倍率の変更



- 縮小ボタン **+** 拡大ボタン

- 拡大するには、拡大ボタン **+** を押ししてください。画面右上に現在の倍率が表示され、画像が拡大します。倍率表示は約2秒後に消えます。拡大ボタン **+** を押し続けると、連続して拡大します。
- 縮小するには、縮小ボタン **-** を押ししてください。画面右上に現在の倍率が表示され、画像が縮小します。倍率表示は約2秒後に消えます。縮小ボタン **-** を押し続けると、連続して縮小します。
- 液晶画面はタッチパネルなので、ピンチイン/ピンチアウトをして倍率を変更することもできます。画面に2本の指を乗せ、2本の指の間を広げるように動かすと、拡大します（ピンチアウト）。その反対に、2本の指でつまむように動かすと、縮小します（ピンチイン）。
- スタンド使用時の拡大倍率：約2.7倍～約19倍
- 「ページ撮影モード」時の表示倍率：約0.8倍固定表示

静止画撮影時は拡大可能。詳細は4.9.1「画面を静止する」をご参照ください。

! 注意

ピンチイン・ピンチアウトの操作はゆっくり行ってください。

！ 注意

ピンチイン・ピンチアウト時、望遠モード時、画像の静止時、または画像の再生時は、拡大・縮小しても拡大倍率表示はされません。

4.6 操作レバーでの画像スクロール

拡大表示中に操作レバー[●]を上下左右に倒すと、画像内をスクロール移動します。操作レバー[●]を上下左右のお好みの方向にすばやく 2 回倒すと、その方向の画像の端に移動します。

また、画面をスワイプすることでもスクロールを行うことができます。

！ 注意

カメラ映像（リアルタイムの映像）表示中はスワイプ操作でのスクロールができません。

！ 注意

操作レバーは引っ張り上げないでください。レバーが抜けてしまいます。

！ 注意

「ページ撮影モード」で画面を（保存画像の再生ではなく）静止すると、操作レバーでのスクロール速度は倍率に応じて変動します。

高倍率になればなるほど、スクロール速度は上昇します。

4.7 カラーモードの選択

モードボタン  を押して、フルカラーモードと 3 種類のハイコントラストカラーモードに切り替えることができます。初期設定のカラーモードの種類は以下の通りです。

- フルカラー
- 黒地に白文字
- 白地に黒文字
- 黒地に黄文字

ハイコントラストカラーモード中にモードボタン  を 1 秒間押すと、フルカラーモードにすぐに切り替わります。

設定メニューで、他のお好みのカラーモードを設定できます。詳しくは「5.2.6 カラーモードの設定」をご参照ください。

! 注意

電源投入時などにおいて、カメラのホワイトバランスが働きにくいことがあります。その際、画面の色味が黄色がかっていたり、青色がかっていたりすることがあります。

その場合、本体を少し持ち上げていただくか、カメラの前に手をかざしていただくと、映像が正常に戻ります。

4.8 タッチフォーカス

カメラ映像表示中にピントが合っていない時には、画面にタッチして対象物に焦点を合わせてください。

4.9 画面の静止と保存

じっくり見たいときには、画像を静止させることができます。

静止画は、読みやすいように拡大、縮小、カラーモードの変更、画像のスクロールができます。

4.9.1 画面を静止する

画面を静止するには、シャッターボタン  を短く押します。

静止状態の画面は拡大/縮小、表示色の変更ができます。

また、静止画面を拡大している場合のみ、操作レバー  を動かす、もしくは液晶画面をスワイプすることで画像を上下、左右にスクロールすることができます。

カメラ映像表示に戻るには、再度シャッターボタン  を押すか、次項

(4.9.2) の戻るアイコン  をタッチして戻ることができます。



メモ

静止画撮影時の倍率は下記のとおりとなります。

「ページ撮影モード」・・・0.8倍～11.5倍

「ページ撮影モード」以外・・・撮影時の倍率に応じて変動します。

4.9.2 静止時ボタンパネルについて

画面を静止すると画像右下にパネル表示ボタンアイコンが表示されます。このアイコンをタッチすると、下のようにボタンパネルが展開します。



ボタンパネルを閉じる

この ボタンパネルを閉じるアイコンをタッチするとボタンパネルを閉じます。

静止画像を保存する

保存アイコンをタッチすると、現在の画面上の画像が保存されます。

正常に保存が完了すると、チェックマーク  が画面上に表示されます。

保存するとアイコンが「ゴミ箱」アイコン  に変わります。

「ゴミ箱」アイコン  をタッチすると、保存した画像を削除します。

保存した画像を見る

フォトギャラリーアイコンをタッチするとフォトギャラリーに入ります。

詳しくは、5.1「フォトギャラリー」をご参照ください。

静止画表示の終了

戻るアイコンをタッチ もしくは シャッターボタンを押して、カメラ映像表示に戻ります。

4.10 ページ撮影モード

スノー12は「ページ撮影モード」専用スタンドを使うことでA4サイズ相当の範囲（約29.5cm×19.5cm）を一度に撮影できます。

ページ撮影モードで撮影した画像には下記機能が使えます。

- 拡大/縮小
- カラーモードの変更
- コントラストの変更
- 画面スクロール
- ライン表示（操作は5.2.4の「メモ」をご参照ください）

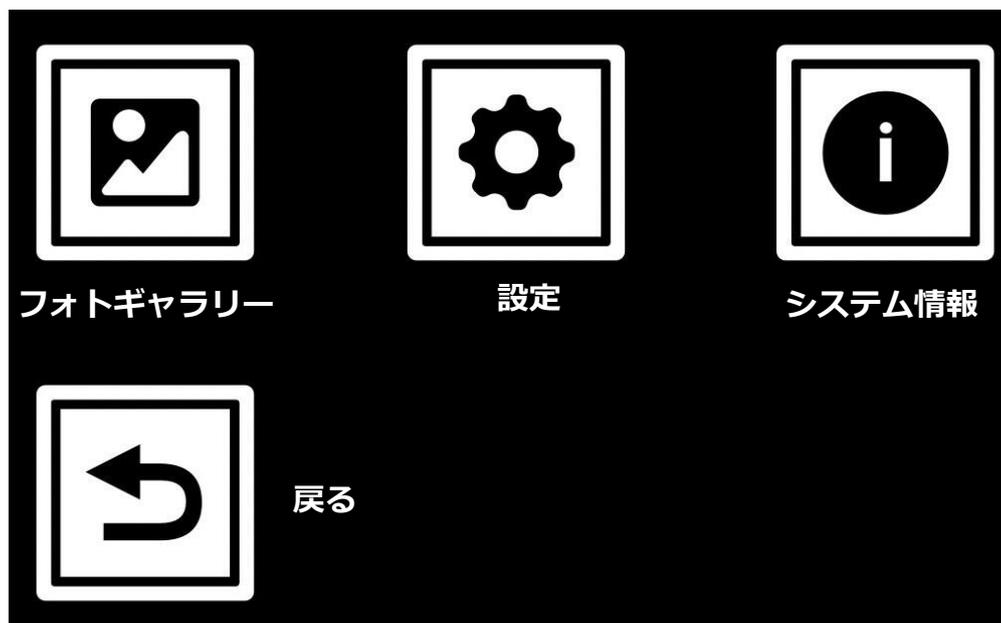
ページ撮影の手順は下記の通りです。

1. 本体スタンドをたたみ望遠モードにしたうえで、「ページ撮影モード」専用スタンドに乗せます。
2. ホームボタンを「ページ撮影モード」とアナウンスが聞こえるまで長押しします。
3. 「ページ撮影モード」専用スタンドのテーブルにA4サイズまでの大きさの用紙を横向きで配置します。
(テーブルの黒い目印に合わせて配置して下さい)
4. スノー12の画面をタッチしてピントを合わせます。
(LEDライトの反射が強い際は、画面左下のライトアイコンをタッチしてLEDライトを消灯します)
5. シャッターボタンを押して撮影します。
6. 縦長の原稿の場合、画面右下のボタンパネル表示アイコンをタッチし、ボタンパネルを展開します。「画像回転」アイコンで画像の向きを修正してください。それ以外のボタンパネルの内容・機能は「4.9.2. 静止時ボタンパネル」と同様です。
7. ページ撮影モードを終了するには、再度シャッターボタンを押してカメラ映像表示に戻してからホームボタンを約3秒間長押しするか、画面右下の終了アイコンをタッチすると終了します。

5. メインメニュー

メインメニューを開く

カメラ映像表示中にホームボタン  を短く押すと、下図のメインメニューが表示されます。



(※ 上記アイコン下の項目名は実際の画面に表示されません)

4つのアイコン（フォトギャラリー、設定、システム情報、戻る）が表示されます。メインメニュー内では下記ボタンで操作ができます。（消音に設定していなければ、項目を読み上げます）

- 操作レバー  : 項目の選択
- モードボタン  : 項目の決定
- シャッターボタン  : 1つ前の項目に戻る
- ホームボタン  : 設定メニューの終了

5.1 フォトギャラリー

フォトギャラリーアイコンを選択・決定（もしくはタッチ）し、「フォト」または「PDF」アイコンを選択してフォトギャラリーを開きます。

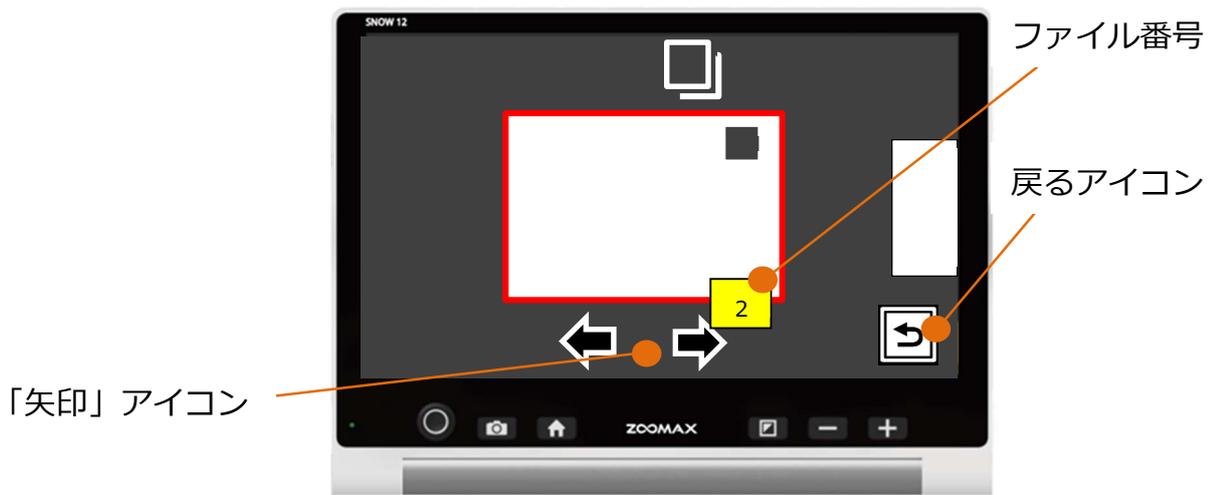
フォトギャラリー内の画像（もしくは PDF）は保存した順番に並んでいます。左から新しい画像（もしくは PDF）で、右の縮小画像に移るごとに古い画像（もしくは PDF データ）の縮小画像が表示されます。

各画像（もしくは PDF データ）の縮小画像左下にファイル番号があり、一番古いものは「1」で新しいデータになるごとに数字が大きくなります。

！ 注意

メインメニュー内と異なり、フォトギャラリー内のアイコンは音声でのアナウンスは行いません。

5.1.1 フォトギャラリー（フォト）



「フォト」アイコンを選択・決定（もしくはタッチ）すると、スノー12で保存した画像の縮小画像が表示されます。画像は左が新しい画像で、右の画像に移るごとに古

い画像が表示されます。画像番号は新しいほど大きい数字になり、一番古い画像が「1」です。

画面中央下部の「矢印」アイコンをタッチする、操作レバーを左右に倒す、もしくは縮小画像を左右にスワイプして、拡大表示したい画像を選択します。選択した状態でモードボタンを押す（もしくは縮小画像をタッチ）すると画像が画面に大きく表示されます。

保存された画像も拡大/縮小やカラーモードの変更が可能です。



メモ

画像を回転すると、回転した状態の新しい画像としてフォトギャラリー内に保存されます。その際、回転した画像はフォトギャラリー内の新しい画像として、一番左側に保存されます。尚、回転状態は保存されますが、倍率の変更や表示色の変更は保存されません。



注意

画像データは回転するごとに、編集・上書きされるので、徐々に画質が低下していきます。また、画像の回転はスノー 1 2 内の処理に大きな負荷がかかりますので、繰り返し行うことで処理落ちしたり、フリーズすることがあります。必要以上に画像を回転しないようご注意ください。



注意

取り扱い上の不備や本機の故障、あるいは修理によって、保存された画像データが消失することがあります。保存された画像データの消失による損害については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

5.1.2 フォトギャラリー (PDF)

「PDF」アイコンを選択・決定（もしくはタッチ）すると、パソコンからスノー12に転送されたPDFの縮小画像が表示されます。画面中央下部の矢印をタッチする、操作レバーを左右に倒す、もしくは縮小画像を左右にスワイプして、拡大表示したいPDFを選択します。選択した状態でモードボタンを押す（もしくはタッチ）するとPDFが画面に大きく表示されます。

保存されたPDFデータも拡大/縮小、カラーモードの変更が可能です。

注意

2ページ以上あるPDFの表示画面において、「倍率の変更」や「カラーモードの変更」「画像の回転」はページの切り替え（1ページから2ページへ移動など）やファイルから出て、フォトギャラリーに戻ると、リセットされます。具体的には下記の通りです。

拡大/縮小 . . . 最小倍率に戻る

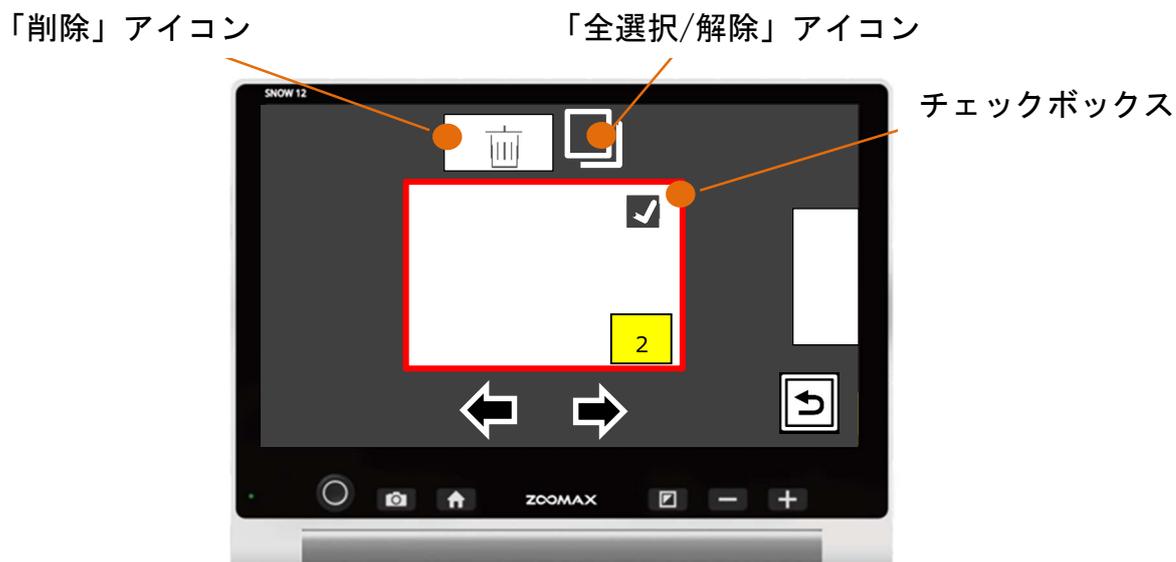
カラーモード . . . フルカラーモードに戻る

画像の回転（ボタンパネル内画像回転アイコン) . . . 回転前の状態

注意

フォトギャラリー (PDF) においてデータの回転を行っても、回転状態は保存されません。

5.1.3 フォトギャラリーでの削除（共通）



削除したい画像を選択するには、右上「チェックボックス」をタッチします。同時に画面上部に

「削除」アイコン  が表示されます。削除アイコンをタッチすると「選択した画像を削除し

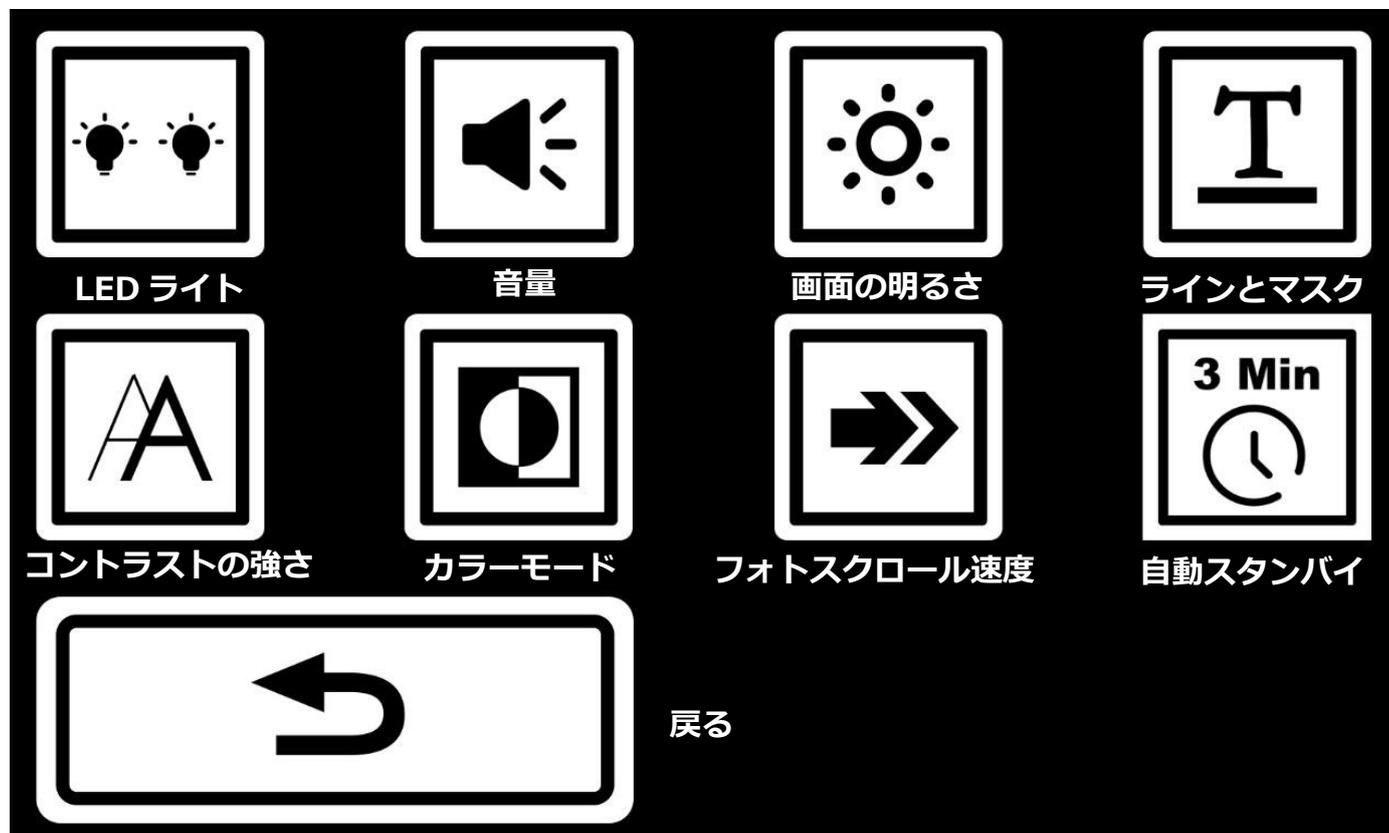
ますか？」と画面表示と音声が出ます。表示下のチェックアイコン  をタッチすると、選択し

たデータを削除します。戻るアイコン  をタッチすると削除せずに前の画面に戻ります。

すべてのデータを削除したい場合は、「全選択/解除」アイコンをタッチすると、すべての画像が
選択されます。この状態で「削除」アイコン  をタッチするとすべての画像を削除することも
できます。

5.2 設定メニューの使用

設定アイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）し、設定メニューを開きます。



(※ 上記アイコン下の項目名は画面に表示されません)

5.2.1 LED ライト設定

「LED ライト」アイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、LED ライトの設定を切り替えることができます。

種類は、両方点灯、左のみ点灯、右のみ点灯、両方消灯の4種類です。

初期設定では、「読書モード」「ページ撮影モード」時は両方点灯、「望遠モード」時は両方消灯です。

! 注意

「読書モード」や「望遠モード」「ページ撮影モード」など、カメラのモードを切り替えると、LED ライトの設定は初期設定に戻ります。また、スタンバイモードから復帰時にも、LED ライトの設定が初期設定に戻る場合があります。

どちらの場合も、再度 LED ライトの設定をお好みに変更する必要があります。

5.2.2 システム音量の変更

音量アイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、スノー12の音量を調節することができます。

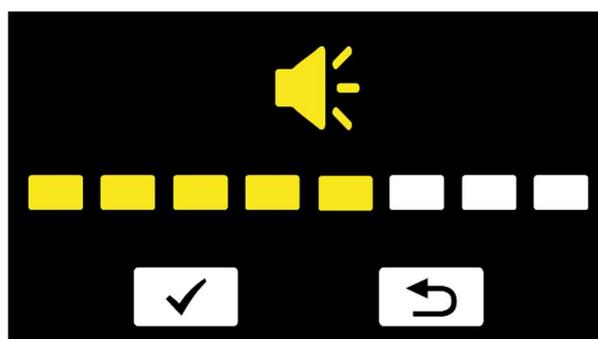
音量は8段階あります。

操作レバー  を左右に倒す、または拡大ボタン  / 縮小ボタン  を押して音量を調整します。表示をタッチして音量を調整することもできます。

モードボタン  を押すか、チェックアイコン  をタッチして設定します。

戻るアイコン  をタッチして戻ります。

初期設定の設定は中音量です。



5.2.3 画面の明るさの変更

画面の明るさアイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、スノー12の画面の明るさを調節することができます。

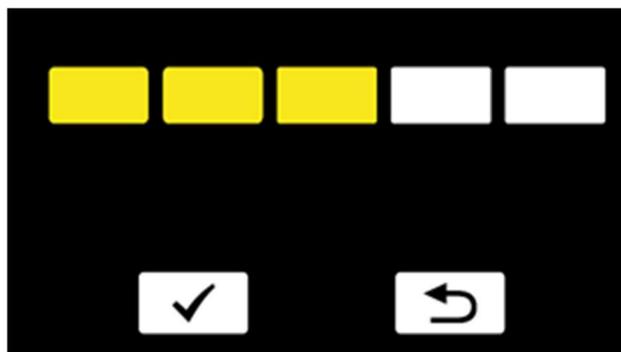
明るさは5段階あります。

操作レバー  を左右に倒す、または拡大ボタン  / 縮小ボタン  を押して明るさを調整します。表示をタッチして明るさを調整することもできます。

モードボタン  を押すか、チェックアイコン  をタッチして設定します。

戻るアイコン  をタッチして戻ります。

初期設定の設定は中間です。



5.2.4 ラインおよびマスクの変更

設定メニューで「ラインとマスク」アイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、ラインの位置やマスク幅を変更することができます。

操作レバーを左右に倒して、表示の種類を選択します。

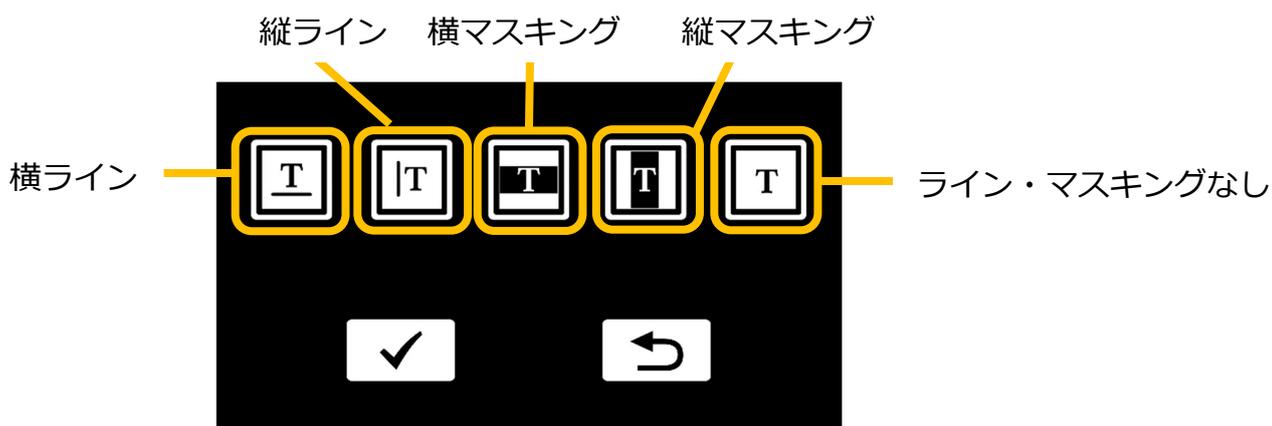
アイコンの意味は下図ご参照ください。

希望のラインのアイコンを選択したら、操作レバー  を上下に倒したり、スワイプしたりしてラインの位置を変更できます。

また、マスクのアイコンを選択した場合、操作レバー  を上下に倒すことでマスクの太さを変更できます。また、マスクで隠している範囲をスワイプすることで、マスクの位置を変更できます。

モードボタン  を押すか、チェックアイコン  をタッチして設定します。

戻るアイコン  をタッチして戻ります。



メモ

メインメニューを開かず、カメラ映像表示中に拡大ボタン  / 縮小ボタン  を同時に押すと、ラインおよびマスクの変更ができます。

このショートカットではラインやマスクの位置・幅の変更はできません。

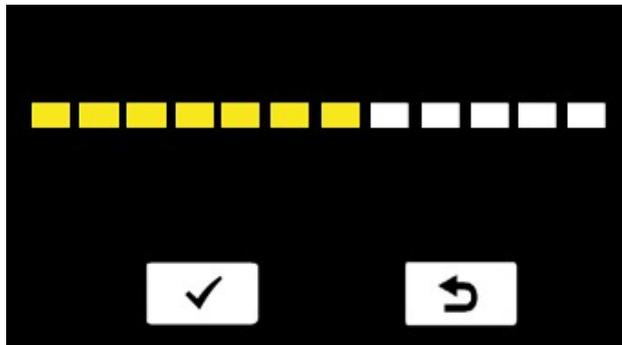
5.2.5 コントラストの強さの調整

ハイコントラストカラーモードでは、見たい原稿(対象物)や周囲の明るさにより、適切なコントラスト強度が異なります。

「コントラストの強さ」アイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、コントラストの強弱を設定できます。操作レバー  を左右に倒す、または拡大ボタン  /縮小ボタン  を押してコントラストの強度を調整します。

モードボタン  を押すか、チェックアイコン  をタッチして設定します。

戻るアイコン  をタッチして戻ります。



注意

メニューに入る前のカラーモードがフルカラーだった場合、コントラストの強さは変更が保存されません。必ずフルカラー以外のハイコントラストカラーモードでメニューに入り、コントラストの強さの設定を行ってください。

メモ

メインメニューを開かず、カメラ映像表示中にモードボタン  を押しながら、拡大ボタン  または縮小ボタン  を押してコントラスト強度を調整することもできます。

5.2.6 カラーモードの設定

カラーモードアイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、ハイコントラストカラーモードのお気に入りに他の色を登録することができます。操作レバー  を左右上下に倒してハイコントラストカラーモードを選び、拡大ボタン 、または縮小ボタン  で選択・解除します。

アイコンをタッチすることでもカラーモードを選択・解除できます。

モードボタン  を押すか、チェックアイコン  をタッチして設定します。

戻るアイコン  をタッチして戻ります。

カラーモードは全部で 11 種類あります。

- フルカラー
 - 黒地に白文字
 - 白地に黒文字
 - 青地に白文字
 - 白地に青文字
 - 黒地に黄文字
 - 黄地に黒文字
 - 黒地に緑文字
 - 緑地に黒文字
 - 青地に黄文字
 - 黄地に青文字
- ハイコントラストカラーモード

! 注意

フルカラーは無効にすることはできません。

5.2.7 フォトスクロール速度

フォトスクロール速度アイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、画面内スクロールの速度を調整することができます。

アイコン選択時にモードボタン  を押すごとに速度の切り替えができます。アイコンをタッチして切り替えすることもできます。

早さは「遅い」「標準」「早い」の3段階です。

初期設定では、「標準」です。

5.2.8 3分間自動スタンバイモードのオン/オフ

3分間自動スタンバイモードの設定アイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、3分間自動スタンバイの設定ができます。

アイコン選択時にモードボタン  を押すごとに自動スタンバイモード オン/自動スタンバイモード オフの切り替えができます。

アイコンをタッチして切り替えることもできます。



メモ

初期設定では、3分間自動スタンバイモードが有効になっています。オフ（無効）にすると、3分以上使用しなくても画面は消えません。また、読書モード、望遠モード時の画面の右下に  マークが表示されます。この場合、電源ボタン  を短く押して、画面を消すことで、手動でスタンバイモードに切り替えができます。

5.2.9 設定メニューを閉じる

戻るアイコン  をタッチして設定メニューを閉じます。

5.3 システム情報

「システム情報」アイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）し、システム情報メニューを開きます。



(※ 上記アイコン下の項目名は画面に表示されません)

5.3.1 ファームウェアバージョン

ファームウェアバージョンアイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、ファームウェアバージョンを確認できます。シャッターボタン  を押すか、もしくは戻るアイコン  をタッチして戻ります。

5.3.2 周波数(50Hz/60Hz)切替

周波数(50Hz/60Hz)の設定アイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、周波数(50Hz/60Hz)の切り替えができます。

アイコン選択時にモードボタン  を押すごとに 50Hz/60Hz の切り替えができます。

アイコンをタッチして切り替えることもできます。



メモ

電灯の下で使用する際に、お使いになる地域の電力環境により、画面上にちらつきやゆらめきが見ることがあります。ちらつきやゆらめきが気になる場合は、周波数の設定を切り替えることで軽減できることがあります。

5.3.3 USB メモリでアップグレード

メンテナンス時のみ使用します。

5.3.4 工場出荷時の設定に戻す（初期設定に戻す）

工場出荷時の設定に戻すアイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、商品の設定情報を工場出荷時の状態にリセットすることができます。

チェックアイコン  を選択・決定（もしくはタッチ）すると、設定が工場出荷時の状態に初期化されます。その後、電源が切れます。戻るアイコン  を選択した場合、初期化はされません。

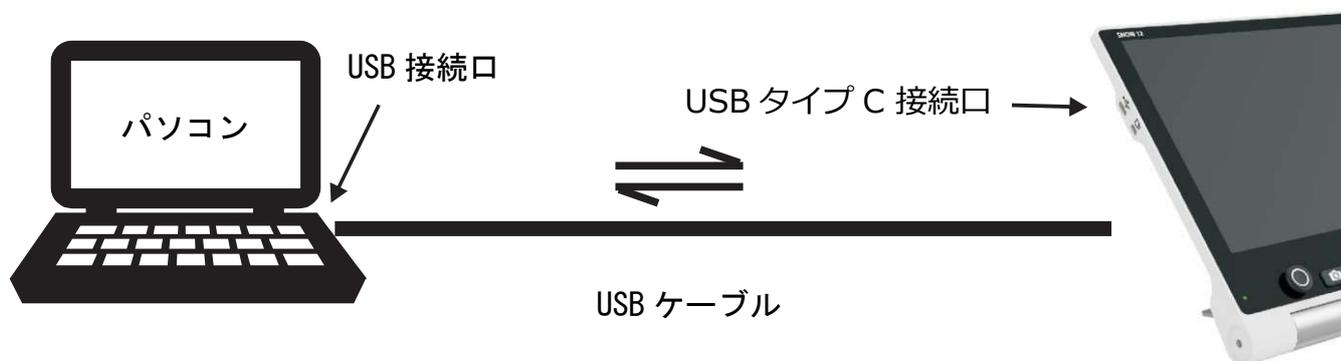
6. 外部接続

6.1 データの転送

スノー12に保存されているファイルは、付属の USB ケーブルを介してパソコンに転送することができます。パソコン上のファイルをスノー12に転送することもできます。

手順は次のとおりです。

1. スノー12とパソコンの電源が入っていることを確認してください。
2. USBケーブルでパソコンに接続します。ケーブルの小さいほうの端子(USB type-c)をスノー12の USB タイプ C 接続口に接続し、ケーブルの大きいほうの端子をパソコンの USB ポートに接続します。

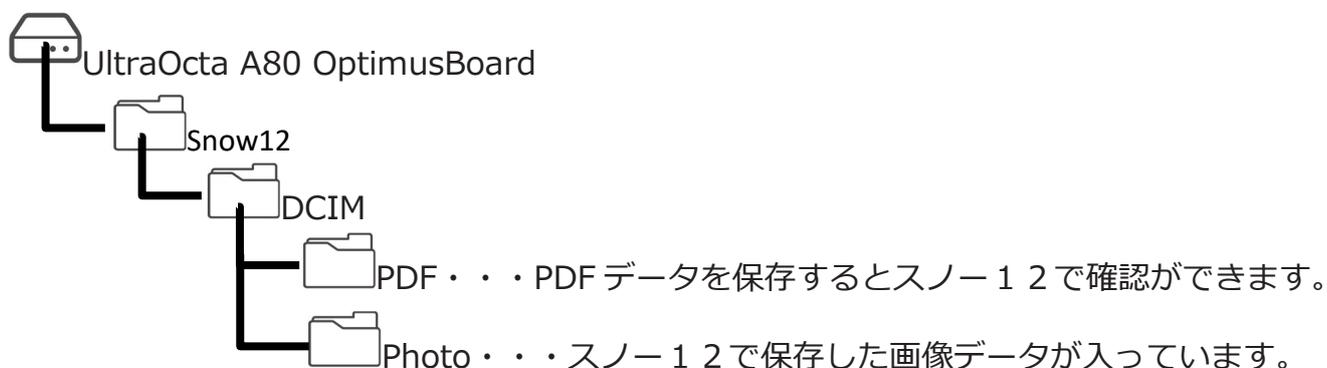


! 注意

スノー12は Microsoft Windows®パソコンのみに接続できます。Mac への接続は対応しておりません。

3. スノー12が接続されると

スノー12が外部デバイスとして「UltraOcta A80 OptimusBoard」と表示されます。フォルダの位置は下図の通りです。



該当するフォルダを開き、転送したいファイルを選択します。選択したファイルをコピーするか、または切り取り、スノー12からパソコンに転送したり、パソコンからスノー12に転送したりすることができます。

! 注意

フォルダ名を変更しないでください。変更すると、パソコンから転送した画像や以前保存した画像を表示できなくなります。

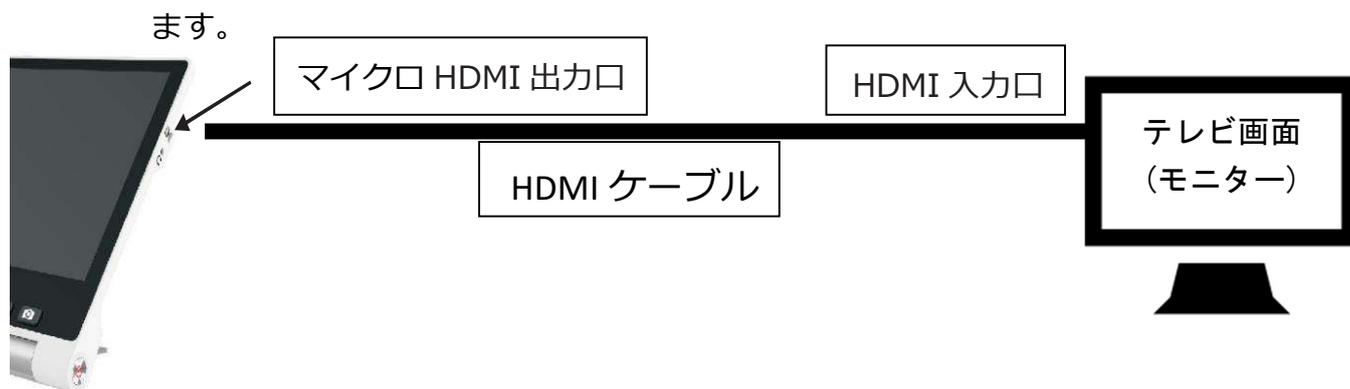
! 注意

データの転送ができるフォルダは「DCIM」内の2つのフォルダのみです。それ以外のフォルダは触らないようにしてください。

6.2 テレビ画面に接続する

スノー12をテレビまたはモニターに接続して、大きな画面で対象物を見ることができます。

1. スノー12とテレビまたはモニターの電源を入れます。
2. 付属のHDMIケーブルでテレビ画面（モニター）に接続します。ケーブルの小さいほうの端子(マイクロHDMI)をスノー12の本体右側面のマイクロHDMI出力口に接続し、ケーブルの大きいほうの端子をテレビ画面（モニター）のHDMI入力口に接続し



3. 接続されると、スノー12の画面が消え、テレビ画面（モニター）に映像が映ります。（スノー12の画面をタッチするとスノー12の画面も表示されます。）

30秒間スノー12の画面にタッチしないと、スノー12の画面は自動的に消えますが、スノー12の液晶画面に触れると、再度点灯します。

！ 注意

テレビまたはモニターによっては、ノイズが入ったり正常に映像が映らなかったりする場合があります。

！ 注意

テレビ画面（モニター）に接続されると、3分間自動スタンバイモードが自動的にオフ（無効）に設定されますが、画面右下の  マークは自動では表示されません。

画面表示をカメラ映像から一度でも切り替え（メインメニューに入る、手動でスタンバイモードにするなど）、再度カメラ映像表示に戻すと  マークが表示されます。

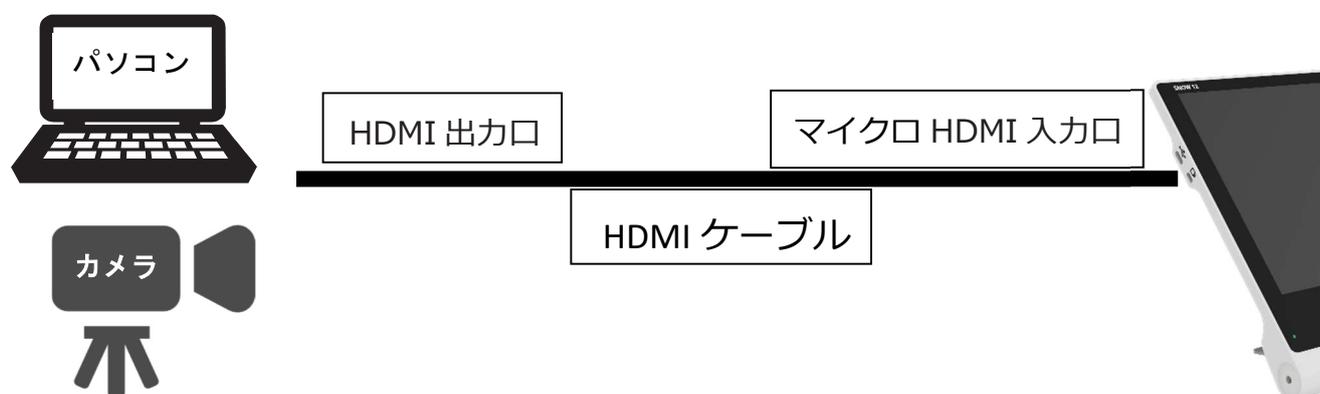
また、 マーク表示中にHDMIケーブルの接続を外しても、自動的に  マークは消えません。上記同様に画面の切り替えを行うことで、画面から消えます。

尚、設定メニューで自動スタンバイをオフ（無効）に設定していても、HDMIに接続し、接続を解除することで、自動スタンバイの設定がオン（有効）になるので、再設定が必要になります。

6.3 スノー12に映像を出力する

スノー12にカメラやパソコンなどのHDMI出力機器を接続すると、スノー12の液晶画面に映像を表示することができます。

1. スノー12とカメラまたはパソコンなどのHDMI出力機器の電源を入れます。
2. 付属のHDMIケーブルでHDMI出力機器に接続します。ケーブルの小さいほうの端子(マイクロHDMI)をスノー12の本体左側面のマイクロHDMI入力口に接続し、ケーブルの大きいほうの端子をHDMI出力機器のHDMI出力口に接続します。



3. 接続されると、スノー12の液晶画面にHDMI出力機器の映像が映ります。

メモ

HDMI入力中にスノー12でできる操作は下記の通りです。

倍率変更：**+** 拡大ボタン・**-** 縮小ボタン（ピンチイン・ピンチアウトでの操作はできません）

画面内スクロール：**○** 操作レバー（拡大表示中のみ操作可能）

静止画撮影・保存：**📷** シャッターボタン

カラーモード：**📺** モードボタン（表示画質によっては正常に映らない場合があります）

！ 注意

HDMI出力機器によっては、ノイズが入ったり正常に映像が映らなかったりする場合があります。また、スノー12に出力できるのは映像のみです。スノー12にヘッドホンを接続しても音声は出ません。音声は各機器（パソコンやカメラ）の設定で別の音声出力方法をご用意ください。

7. 困ったときには

| 問題 | 確認事項 |
|---|---|
| 画面に映像が映らない | <ul style="list-style-type: none"> ●スタンバイモードになっていませんか？ ●充電はできていますか？ ●倍率が高くなりすぎていませんか？ |
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> ●充電はできていますか？ |
| 画面が暗い、歪む | <ul style="list-style-type: none"> ●スノー12を平面の上に置いてご覧になっていませんか？ |
| 画像が汚れている、汚れて見える | <ul style="list-style-type: none"> ●カメラや画面が汚れていませんか？汚れている場合は、柔らかい布できれいにしてください。 |
| テレビ画面等に接続したが、画面に表示されない | <ul style="list-style-type: none"> ●テレビの電源は入っていますか？ ●HDMIケーブルはテレビに正しく接続されていますか？ ●電源ボタンを約3秒間長押しし、強制終了してください。そして、再起動してください。 |
| 取扱説明書に記載のない問題が発生した場合 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源ボタンを約10秒間長押しし続けて強制終了してください。そして、再起動してください。それでも直らない場合は、販売店にお問い合わせください。 |
| もともと黒い背景に白い文字で書いてあるものを静止画撮影すると、その部分が黒もしくは白で塗りつぶされてしまう | <p>静止画状態ではこの現象が起こることがあります。</p> <p>その状態で保存し、保存した画像を開くと正常に表示されます。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>保存した画像を繰り返し回転していると、処理落ちしたり、画質が悪くなったりする</p> | <p>同一画像を「90度回転し、戻るアイコンをタッチする」作業を繰り返すことで該当現象が発生することがあります。回転は可能な限り「戻るアイコン」をタッチする前にまとめて行ってください。</p> |
| <p>「ページ撮影モード」専用スタンド使用時にコントラストの表示が不安定になる</p> | <p>「ページ撮影モード」専用スタンドは、基本的に「ページ撮影モード」時にご利用いただくことを想定しております。それ以外のモードで「ページ撮影モード」専用スタンドに載せると、この現象が確認されることがあります。「ページ撮影モード」専用スタンドは「ページ撮影モード」でご利用いただきますようお願いいたします。</p> |
| <p>画面の表示が全体的に黄色っぽい、もしくは青っぽい</p> | <p>起動時の状態によってはカメラのホワイトバランス調整が働きにくいことがあります。本体を少し持ち上げていただくか、カメラの前に手をかざしていただくと、映像が正常に戻ります。</p> |
| <p>PDFでページ送り（戻し）をすると、画面表示が勝手に変更される</p> | <p>2ページ以上あるPDFの表示画面において、各種画面表示変更はページの切り替え（1ページから2ページへ移動など）をすると、リセットされます。具体的には下記の通りです。</p> <p>拡大/縮小 ・・・ 最小倍率に戻る</p> <p>カラーモード ・・・ フルカラーモードに戻る</p> <p>画像の回転 ・・・ 回転前の状態</p> |
| <p>設定メニュー内でもマスク表示の位置変更ができない</p> | <p>設定メニュー内の「ラインおよびマスクの変更」においてマスク表示の設定を行っている際のみ変更が可能です。また、マスクの位置変更は、カメラ映像が表示されている部分ではなく、マスクで隠れている部分をスワイプすることで変更が可能です。</p> |

8. 商品仕様

- 倍率: 約 2.7 倍～約 19 倍 (読書モード) ※ピントが合う高さは約 5.5cm
約 0.8 倍～約 11.5 倍 (ページ撮影モード) ※ピントが合う高さは約 1.3 cm
 - カラーモード: フルカラーおよび 10 種類のハイコントラストカラーモード
 - 画面: 12 インチ タッチパネル; 画面解像度: 1920 x 1080p
 - カメラ: タッチフォーカス; 1300 万画素
 - 寸法: スノー 12 本体 : 約 287mm x 215mm x 27mm (折りたたみ時)
約 287mm x 170mm x 145mm (読書モード時)
約 350mm x 283mm x 320mm (「ページ撮影モード」時)
「ページ撮影モード」専用スタンド (折りたたみ時) : 約 350mm x 230mm x 43mm
 - 重量: スノー 12 本体: 約 1,060g
「ページ撮影モード」専用スタンド: 約 1,240g
 - 連続使用時間: 約 2.5～3 時間 (LED ライト、画面の明るさ等により変動します)
 - 充電時間: 2 時間
 - リチウムイオンバッテリー: 11.1V、3,400mAh、37.74Wh
 - 電源: 入力: 100-240V; 出力: 15V/4A
 - 保存容量: 約 4.5GB
- 例) 読書モードで撮影し保存 : 約 4,500 枚
- ページ撮影モードで撮影し保存 : 約 450 枚

9. お客様相談室

フリーダイヤル： 0120-886-610

受付時間： 平日 9:00～12:00

13:00～17:30 (土曜・日曜・祝日は休み)

製造元： ZOOMAX Technology co.,Ltd.

輸入販売元： 株式会社 システムギアビジョン

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 1-6-11

TEL： 0797-74-2206 FAX： 0797-73-8894

URL： <http://www.sgv.co.jp>

E-Mail： sgv-info@systemgear.com